

平成22年度第3回熊本県環境影響評価審査会

議 事 概 要

1 日 時

平成23年2月28日（月）午後1時30分から午後3時30分まで

2 場 所

熊本県庁行政棟本館5階審議会室

3 出席者

(1) 熊本県環境影響評価審査会

青木委員、植田委員、河上委員、小島委員、田中委員、寺崎委員、中野委員、古川委員、逸見委員、三角委員、棕木委員、矢野委員（会長）、渡邊委員（14人中13人出席）

(2) 事務局（熊本県環境生活部環境保全課）

松島課長、藤本環境生活審議員、安永課長補佐、廣畑参事、坂本主事、池田主事

(3) 事業者等

7人

(4) 傍聴者等

傍聴者なし、報道関係者1社（熊日）

4 議 題

「(有)天草産業廃棄物処理工業産業廃棄物安定型最終処分場の拡張事業」
環境影響評価方法書について

5 議事概要

事務局（環境保全課）から、今回の事業概要並びに熊本県環境影響評価条例に基づくこれまでの手続の経過及び今後の手続の流れについて説明。その後、審査会意見（案）について審議が行われた。審議の内容については、以下のとおり。

【事業計画に関する事項】

委 員

順を追っていきたい。

まず、「事業計画に関する事項」に関する意見について、〇〇委員から追加・訂正等あればお願いします。

委 員

ない。

委員 次の意見を出した〇〇委員はどうか。

委員 ない。

委員 〇〇委員はどうか。

委員 ない。

【大気環境】

委員 次は「大気環境」に関して、「窒素酸化物」の項目で〇〇委員どうか。

委員 1点ある。「粉じん等」について私の提出した意見では、粉じんの浮遊粒子状物質の影響を評価「すべき」とは書いていない。「しないならば、具体的に（理由を）書くべき」ということにしていたが、審査会意見案では「評価の必要性について検討のこと」となっている。これは事業者からも「選定する」というような見解があったからということか。

事務局 〇〇委員の意見としては「しなくてもいいのか」というような書き方だったので、「させた方がいいのでは」という考えかと思い、このような記述とした。また、たしかに事業者見解としても「選定する」ということであつたので、「検討すること」という形で意見とした。

委員 了解した。

委員 安全側なのでよいと思う。私の提出した「騒音・振動」についての意見はこれでよい。

【水環境】

委員 次に「水環境」について。〇〇委員どうか。

委員 この部分は単なる指摘なので特にない。

委員 2項目ともよいか。

委員 よい。

委員 〇〇委員はどうか。

- 委員 このままでよい。
- 委員 その次の「利水状況」についてはどうか。
- 委員 よい。
- 委員 6ページの「水質」に関して〇〇委員どうか。
- 委員 少し長いが、私の言いたいことは書いてあるので特にない。
- 委員 〇〇委員。
- 委員 これでよい。
- 委員 「水質」に関して〇〇委員の2件の意見はどうか。
- 委員 これでよい。
- 委員 〇〇委員の方はどうか。
- 委員 7ページで、〇〇委員の意見では「溶出水」、私の意見では「浸出水」、さらに方法書の中では「浸透水」という言葉がある。統一しておく必要があると思うが。
- 委員 この「溶出水」は、溶出試験等のデータということなので、「浸透水」とは異なる。例えば「溶出試験によって得られた溶出水」と詳細に書いた方がよければ、そう書いてもらってもよい。
- 委員 「浸透水」と「浸出水」はどう違うのか。
- 委員 安定型の（最終処分場の）場合は「浸透水」。
- 委員 ということは、審査会意見の中の「浸出水」は「浸透水」に変更することか。
- 委員 それがよい。
- 委員 そのように修正をお願いします。〇〇委員もよろしいか。

- 委員 よい。
- 委員 では、次の「浸透水の水質」と「底質」に関しては〇〇委員どうか。
- 委員 審査会意見の中で「BODだけでなく、COD及びTOCを測定し、BOD/CODの比を」となっているが、「BOD/COD又はBOD/TOCの比を」としてほしい。CODとTOCのどちらかで有機物全体を押さえてほしいという趣旨。これでは、TOCは測定する必要がなくなるので。
- 委員 ではそのように修正をお願いします。次の「水質」に関する〇〇委員の意見はどうか。
- 委員 最後の「本施設が管理型に近い施設であることを提示できる」は書かなくてもよいと思う。（地下浸透量を削減する）効果があるということに記載するだけでよい。
- 委員 そのように修正をお願いします。次の意見はこれでよいか。
- 委員 よい。
- 委員 3つめもよいか。
- 委員 「滞水層」の「滞」は「さんずい」がいない。
- 委員 修正をお願いします。「地下水」に関して〇〇委員どうか。
- 委員 下から3行目は「処分場建設時の地下水位に比較して『、』変化の有無について記載のこと」の方がわかりやすいと思う。
- 委員 そのように修正をお願いします。10ページの「地下水」に関して〇〇委員。
- 委員 上の方はこれでよい。下の意見について補足説明をしたい。
というのは、方法書の15～16ページの図で、工事を続けていくと下の図のようになる予定だと思う。〇〇委員も指摘しているように、ここに書いてある地下水位がだんだん上昇するようなことがあるのかないのか。その点の評価がない。高度を見ると少しの変動で60メートルぐらいまでは達するが、そうすると南側の尾根は（越えるか越えないかの）ぎりぎり（の高度）になる。そういった意味で指摘したことを補足しておく。
- 委員 文言としては「把握する必要がある」でよいか。

委員 よい。

委員 3つ目の意見もこれでよいか。

委員 よい。

【土壌】

委員 12ページの「土壌」に関して〇〇委員。

委員 よい。

委員 〇〇委員はどうか。

委員 よい。

委員 「地形」に関して〇〇委員どうか。

委員 よい。

委員 続いて14ページの「土壌」に関して〇〇委員どうか。

委員 このままでよい。

委員 文字のことを聞きたいのだが、「ふしょく」はこの字（「腐食」）でいいのか。

委員 審査会意見の「腐食」は誤り。「腐植」が正しい。

【動物・植物・生態系】

委員 続いて15ページの「動物・植物・生態系」。まず、〇〇委員どうか。

委員 事業者見解で、この方法（崖・朽ち木崩し法）が一般的採取法に含まれているということが示されているので、どちらかというとその下の「昆虫の特性に応じたより適切な採取方法」以下を強調してもらいたい。調査時期等適切な時期や方法で、冬季も含めて行ってもらいたい。

事務局 「昆虫類については、一般的採取法で採集するとしているが、調査時期についても冬季を含め、より適した時期を選定すること。」というような形か。よ

ければこれで修正させてもらう。

委員 よろしいか。

委員 よい。

委員 それでは、「動物」に関して〇〇委員。

委員 これでよい。

委員 続いて16ページはどうか。

委員 調査地域の近辺にある池のことで意見を述べたが、私が気にしていたのは東側の池のこと。北側にもたしかに池があるが、東側の方のことを言ったつもりだった。具体的にどのような池なのか。ただのため池のような池ならば別に問題ないが、やはり水（水辺）なのでどんな生物がいるかは見てみないとわからないのではないか。（事業区域からは）尾根が2つほどあるとのことで、調査区域には入っていないが、できれば見るだけでもいいので調べてもらいたい。

委員 文言を修正する点はあるか。

委員 審査会意見には「北側」とは書いていないので、これでよい。

委員 それでは「動物・植物・生態系」に関して次の指摘。〇〇委員。

委員 「本町の歴史」という資料を取り上げたというのがおかしい。（事前に）送ってもらった資料（「本町の歴史」の写し）では、植物についてこのように書いてある。

「これまでまとまった報告書はないが、植物図鑑などを参考にしながら身近な植物を取り上げてみよう。」

このような表現の資料を取り上げるのはおかしい。また、少しでも天草の（動植物についての）知識があれば取り上げる必要のないものまで挙げてあるので、非常に心配している。

それから、私が参考として挙げた資料で、抜けてはいけないものが抜けていた。熊本で植物を専攻する人のバイブルと言われているが、「熊本県植物誌」という資料がある。希少な植物の場合は産地名を記してあるので、その中から天草（に生息・生育するもの）を拾うことは可能。

文言はこれでよい。今まで初めて見た資料だが、動物の方も同じような状況ではないかという気がする。

委員 動物に関してもまったく同じ。シロミスジという蝶の仲間が書いてあるが、これは八重山地方で2～3か所しか見つかっていないもの。もし見つければレッド種である。そういう点でチェックはかかっていなかったのか。(事業者にも) 専門家がいるだろうから、しっかりチェックして書いてもらいたい。

【景観・人と自然との触れ合いの活動の場】

委員 次に「景観・人と自然との触れ合いの活動の場」で、〇〇委員から3件意見が出ている。

委員 これはよい。

【文化財】

委員 「文化財」について。〇〇委員は今日は欠席だが、これです承は得ているか。

事務局 了承を得ている。

【その他】

委員 最後の意見だが、〇〇委員。

委員 先ほどの住民意見がゼロということにも関係するかと思うが、このような分厚い図書を一般の人が見てぱっとわかるはずがない。例として挙げた部分は、私が見てもよくわからないような表現・表記の仕方である。住民の方に見せる気持ちがなければ、おかしいと思う。できるだけわかりやすく、専門用語であれば少し解説をつけるなど(してほしい)。細々したデータはわからなくても、一般的なところはそのような表記の仕方をしてもらいたいという要望。

【全体を通しての審議】

委員 これで一応全項目について意見を聴いたが、最後に全体を通して漏れや追加の意見等があれば、遠慮なくお願いします。

委員 先ほど〇〇委員から指摘があったように、方法書の中で「浸出水」や「浸透水」など表記が混在しているところがあるので、もう一度見直してほしい。

委員 その他に意見はあるか。

委員 1ページ目。〇〇委員からの「森づくりを～」という意見だが、審査会の意見としてこれを出すべきか。希望としては当然この通りだが。

廃材置き場や資材置き場は一応経済的な行為として成り立っていくだろうが、シイやカシなどの森づくりというのはなかなかそういうこと（経済的行為）につながりそうにないので、そこまで言っているのかというところ。審査会の意見として出すか出さないかについては検討が必要ではないか。

委員　　これまで方法書についてこの種の意見を提出したことはあったらどうか。

事務局　　似たような意見を（委員から）もらったことはある。ただし、意見事項ではなく、やはり要望事項という形にさせてもらった例はある。今回も語尾を「検討願いたい」という表現にし、要望事項としている。

委員　　私が少し不安に思ったのは、「資材置き場」というものが、どんなものか見当もつかないということ。どんな資材を置くのか、何をする場所なのか、廃棄物を置くような形になるのではないかという心配がある。

この場所は道路からも近いし、すぐそばには民家もある。谷を埋めて形を変えることで、それなりに一般の方にも影響があるのだから、社会貢献という意味でもこういう風に（森づくり等を）してもらいたいという気持ち。

委員　　ここでは、要望として提出することで問題はないと思う。

事務局　　あくまで要望という形での表現にしておく。

委員　　その他に意見はないか。

委員　　15ページで「ルートセンサス法」ではうまくいかないのが、適切な方法を選定することというようなことが書かれているが、その上の「崖・朽ち木崩し法」のような具体的な例は挙げなくてよいのか。

関連して、17ページの〇〇委員の意見でも「熊本県植物誌」、「天草郡植物誌」、「BOTANY」という具体的な書籍の名前が出ているので、そういったものを例として挙げるなど具体的な指導のようなものがあったとしてもよいのかもしれないと思う。

委員　　どこまで具体的に書くかだが、このあたりはどうするか。

事務局　　この件については〇〇委員の意見を聴きたい。

委員　　詳しく書くのはかまわないが、少なくとも昆虫を専門にしている人なら知っている方法がある。事業者にももちろん専門家はいるはずなので、私はそこまで詳しく書く必要はないと思う。

委員	その他意見はあるか。
委員	これまで何度か審査会に参加したが、最終的な審査会意見としては非常に簡単な形になる。(審査会の)内容は非常に具体的だが、最終的にはこのような簡単な方法でこういう風にやってくださいというような。個人的にはどんな形(の意見)になるのか楽しみ。
委員	各委員の専門の意見を尊重して、審査会意見の様式にまとめて提出したいと思うがどうか。
委員	わかった。
委員	そのようにさせてもらう。その他に意見はあるか。
事務局	17ページはどうするか。具体的な文献名を書いた方がよいのか。
委員	これはもう(事業者には)知らせてあるのか。
事務局	事業者には伝えてある。
委員	ならば今の意見からすると、審査会意見としては詳しく書かなくてもよいのではないかと思うが。
事務局	ではそのようにする。
委員	その他意見はないか。 迅速な審議への協力に感謝する。特に意見もないようなので、これまで審議した内容を事務局から説明のあったこの様式に整理して、審査会意見として会長名で知事に提出することとする。以上で、審議を終了する。

※ 配布資料

①会議次第

②(有)天草産業廃棄物処理工業「産業廃棄物安定型最終処分場の拡張事業」環境影響評価方法書に対する審査会意見のとりまとめ(案)

③「産業廃棄物安定型最終処分場の拡張事業」に係る環境影響評価方法書に関する熊本県環境影響評価審査会意見(様式)

④参考資料

- ・審査会意見形成に係る各委員の個別意見の取り扱いについて
- ・「産業廃棄物安定型最終処分場の拡張に伴う環境影響評価方法書」に係る天草市長からの意見及び事業者見解

